

2010 (09年度分)  
シマノ・ワールドスポーツキャスティング・トーナメント  
全国大会 ガイドブック

●日 時 2010年 4月11日 (日)

●場 所 静岡県袋井市 小笠山総合運動公園 エコパスタジアム

●主 催 株式会社 シマノ

●大会役員

大会委員長	株式会社シマノ 取締役 釣具事業部長	島野 泰三
大会総括	株式会社シマノ	山本 雄三
競技委員長 主審、副審	JCA役員 ビートCC	長谷川 工藏
主審、副審	JCA役員 中部CC	平野 浩昭
主審、副審	JCA役員 ビートCC	木村 博美
計測①リーダー	中部CC	松下 勝司
計測 ①	磐田SC	加藤 彰
計測 ①	ビートCC	小倉 豊
計測 ①	ビートCC	倉又 俊六
計測 ①		岩下 正博
計測②リーダー	CCC愛知	菊池 喜代隆
計測 ②		高瀬 実善
計測 ②	酒匂サーフFC	小石川 勇
計測 ②	ビートCC	佐藤 雄二
計測 ②	ビートCC	木村 和江
計測③リーダー	ビートCC	手塚 優
計測 ③	湘南SC	高瀬 恵
計測 ③	湘南SC	小澤 仁
計測 ③	CCC愛知	荒谷 晃生
計測 ③		松川 公彦
大会運営	株式会社シマノ	安東 正幸
大会運営	株式会社シマノ	上杉 憲雄
大会運営、記録管理	株式会社シマノ	梁間 伸彦
大会運営、MC	株式会社シマノ	伊賀 由美
スチール撮影、記事	フロウ	佐野 伸
機材管理搬入	株式会社正栄物流	中野 雅夫

●関係連絡先

株式会社シマノ 釣具事業部 ワールドスポーツキャスティング・トーナメント事務局  
〒590-8577 本社/大阪府堺市堺区老松町3丁77番地  
TEL (072) 223-3733 FAX (072) 223-3232

緊急連絡先 (4月10日 (土) 午後より開設いたします)  
TEL (080) 1514-3731

エコパスタジアム  
TEL (0538) 41-1800

## ●大会スケジュール

6 : 45~	シマノスタッフ到着、大会運営室2の開錠 スタジアム内およびベンチ（スタンド下の選手準備エリア）への入場は、大会運営室2内を経由するルートのみといたします。早く来られた選手は、スタジアム1階中央エントランスホール突き当たり右側の大会運営室2付近でお待ちください。
7 : 00~ 7 : 20 状況により早める 場合がありますが、 受付終了時間は 変えません。	受付、ゼッケン番号（投てき順）抽選、キャップ、シンカー配布 ★ゼッケンN○. とシンカーN○. のチェックは選手本人で確実にお願いいたします。競技開始後、シンカーN○. がゼッケンN○. と異なるものを使用した場合、ファウルになりますのでご注意ください。  受付を終えられた選手は、注意事項説明までの間にベンチへ荷物の移動や競技準備を行なうことができます。
7 : 20~ 7 : 30	注意事項等の説明（大会運営室2）
7 : 30~ 8 : 00	競技準備、投てき準備、ゼッケン1番選手はネクストエリアで待機 2~4番選手は待機エリアで待機
8 : 00~14 : 00	競技
14 : 00~14 : 30	表彰式、記念撮影

- ・ 天候その他の状況により大会を中止する場合は、4月9日（金）13時に決定いたします。中止の時のみ4月9日（金）13時よりフリーダイヤル自動応答電話（0120-285615）を開設いたします。懸念される場合は13時以降にご確認ください。
- ・ 大会中止時の費用：4月9日（金）正午以前に大会会場に向かって出発したり、選手の都合や状況により連絡が取れない場合に発生する交通費、宿泊費などの大会参加に関連して発生する費用は自己負担とさせていただきます。
- ・ 大会スケジュールは都合により変更する場合があります。
- ・ 大会スケジュールが遅れる（繰り下がる）場合がありますので電車・飛行機などで参加の方は、充分余裕を持って便の予約をお願いいたします。
- ・ 前日（4/10土曜日）は、選手の皆様が十二分に練習が行なえますよう、エコパ内の投てき練習場を、午前9時からご準備させていただいております。ご希望の選手は、9:00~17:00までの間に存分にご利用ください。ご利用の際は、申し出不要とし、かつ自由に出入り可能といたします。
- ・ 競技説明終了からゼッケン1番選手の投てき開始まで30分を見ておりますが、準備時間に不安な選手は早めに受付を済ませれるようお願いいたします。

## ●競技規定

### 【お願い】

朝の7:20~7:30は、注意事項の説明でございます。競技説明は時間の都合上、特にございません。従いまして、このガイドブックで不明な点がございましたら、事前に事務局までお問合せいただきますようお願い申し上げます。

### 選手各位

今回、新たに内容を見直しました。

1) 風の影響を考慮し、競技開始から終了までモチベーションの維持と競技意欲の高揚を図り、可能な限り『実力=成績』となる順位決定方法の導入。
2) 全国大会にふさわしいレベルでの競技進行と結果。
3) 従来の規定で疑義のあるもの、疑義が生ずる可能性のあるものについて明確に規定し公平性を高める。(例: 投てき時のハンドル取り外しの禁止など)
4) 飛距離等に影響しない不要な規定の再検討による撤廃や、過失しがちな規定のペナルティの緩和。(但し、試合進行や会場の保全等に関係するものは除きます)
5) ファウルや失格、検査等、ネガティブな表現の明文化。
6) 進行効率化を目的とする、投てき時間の短縮化、および進行の時間管理の明文化。

等を加味し、選手の皆様に最大限の実力を発揮していただくようにいたしました。

一発勝負とか、2回戦や決勝戦といった華やかなステージは無くなりますが、主催者の意図をご理解ください。

なお、今回新たに規定した部分と従来からの規約で重要な部分について、★印をつけております。以下、ルールをご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 【総則】

- ★ 規定違反において、原則は該当するその投てきのみをファウルといたしますが、内容によって失格(総合順位のみ無しとする場合だけでなく、その投てき以前以後全ての記録を無効とする場合があります)にすることもございます。失格事項については、各規定に明記しております。また、規定中に『・・・場合があります』というような不定形な表現は、安全上・進行上・他選手への妨害や不公平性・・・等の問題でインパクトの大きさにより審判や大会役員の判断で決定することをご了承ください。
- ★ 種類や内容を問わず、警告や注意を繰り返す場合は審判の判断により、該当する投てきをファウルにしたり、失格になる場合がございます。
- ・ タックルチェックにおいて、タックルセットのコンディション維持のため、審判は投てき前の選手のタックルはシンカー以外は極力触れないようにいたします。以下、ご熟読いただき、ご協力をお願いいたします。

### 【ロッド、リール】

- ・ ロッドのメーカーは自由とします。
- ・ ガイド付ロッド及びインナーロッドのみ使用可。
- ★ 但し、ガイド付ロッドのガイドとは、ラインを全周囲むものとし、(断面がU字形やV字形のガイドや竿の表面にラインを乗せる装置の使用は禁止します)
- ・ リールのメーカー型式は自由とします。
- ・ スピニングリール、ベイトキャスティングリールどちらでも可能です。
- ・ ロッド・リール共に改造を認めず。
- ・ グローブ、フィンガープロテクター等の使用は自由です。

### 【ライン】

- ・ ラインのメーカーは自由とします。
- ・ 競技用のラインは直径0.250mm以上を使用してください。リーダーは0.350mm以上を使用してください。(標準直径2.5号=0.260mm、5号=0.370mm)
- ・ モノフィラメントのみ使用可。(ナイロン、フロロカーボン等)
- ・ 金属を含むライン、及び編み込み糸は使用禁止とします。

- ★ ラインの直径の測定位置は、シンカー結節部、リーダー結節部、スプール接続部のすべてにおいて、接続部から20cm以上離れたところを目安に行ないますが、その範囲内での測定位置や測定回数は審判が任意に決定いたします。また接続部20cm以内であっても極端に細い場合は、審判の判断により警告する場合がございます。測定は、ラインゲージで測ります。5/1000mmほど圧縮されますので余裕のあるラインをお使いください。測定は投てき前には一切行わずに投てき後に行います。規定以下の数値の場合は再度測定し、測定回数にかかわらず、1箇所につき2回規定以下の測定結果の場合、ファウルといたします。また、1回目規定以下、2回目規定以上の場合、審判の判断で同一箇所や同じラインの他の箇所を複数測定する場合があります。
- ★ ラインの太さは放出された全ての部分で規定以上であること。たとえ1箇所でも規定以下の場合、ファウルといたします。また、2回以上の投てき回でライン測定でファウルになった場合は失格といたします。
- ★ 放出されたラインは途中で継いでないこと。（リーダー接続部及びスプールとの接続部は可）  
但し、競技途中のライントラブルでやむを得ず接続する場合、審判の許可を得たときのみ可といたしますが、審判の判断で任意の箇所のラインチェックを行なう場合がございます。
- ★ リーダーは規定以上の太さが投てき時（リリースの瞬間）にスプールに1回転以上巻かれていること。
- ★ テーパーラインは使用可能です。但し、最細部分は0.250mm以上とし、投てき時は0.350mm以上の部分がリールからシンカーまであり、かつリールに1回転以上巻かれていること。
- ★ ラインとリーダーやシンカーとの結末に接着剤や糸等の使用や、ラインとリーダー間に太さの差があるのに結び目が存在しないラインやリーダー等の使用は禁止とし、失格といたします。

## 【シンカー】

- ・ 受付で支給するゼッケンNo. 入りシマノラバーシンカー18g以外の使用はファウルといたします。
- ・ ラインとシンカーの接続に接続具(スナップ等)の使用は不可とし、直結のみといたします。
- ★ 支給したシンカーへの潤滑剤等の塗布をはじめ、一切の加工は禁止です。配布されたままの状態で使用すること。
- ★ シンカーの結節において、直結部分の変形は認めますが、故意に切れ込みを入れたり、切れ込むような方法での結節はファウルといたします。フリーノット（首フリタイプ）以外での結節で不安な方は事前に審判にお尋ねください。
- ★ シンカーチェックはネクストサークル内で行ないます。その場合、当日支給したシンカー以外のもの及び異なるゼッケンNo. のシンカーが結節している場合は、ネクストサークルに入った時点でその投てきをファウルといたします。
- ★ シンカーチェック時に行なう内容は、
  - ・ シンカーの外観（加工、形状、その他）
  - ・ ゼッケンナンバーとの照合
  - ・ リーダーのスプール1回転以上
 です。合格の際、審判がシンカーにサインいたします。ご協力ください。
- ★ 審判の判断により、距離計測終了後にシンカーの重量チェックを行なう場合があります。

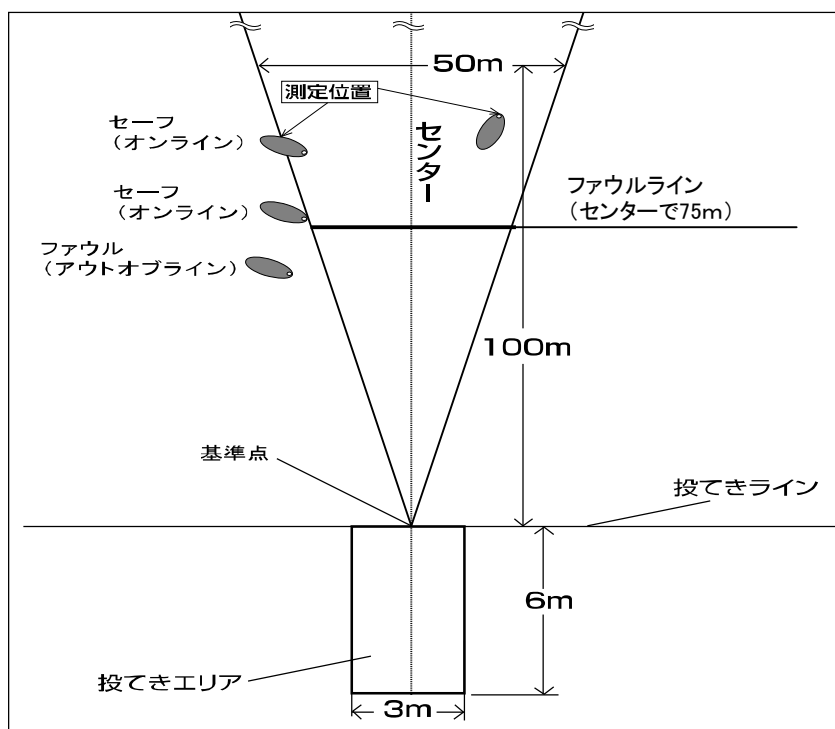
## 【ゼッケン、キャップ】

- ★ 競技中のゼッケンは前後ともに番号及びシマノのロゴが見えるように装着ください。また、装着状態について大会役員が指示を出す時は従っていただきますようお願いいたします。
- ★ お渡しするキャップについても競技中は装着を義務付けます。逆かぶり・横かぶりではなく、正常な方向で被っていただきますようお願いいたします。

## 【シューズ】

- ★ エコパスタジウムは第一種陸上競技場の為、硬質の靴底（スパイクを含む）を有するシューズは使用できません。トラック及び芝生を傷めないよう靴底がゴム及びエラストマーのシューズを用意下さい。通常のスニーカー・運動靴・テニスシューズ等、ゴム製及びエラストマー製であれば突起があっても問題ありません。（割箸の角で1kg程度の力で押して少しでもへこむものであればOKとします。）

## 【競技コート】



- ・ 競技コートは100m地点で左右の幅が50mあるV字形コートを使用します。
- ★ サイドライン（左右ファウルライン）はロープの外側を有効とします。シンカーの一部がわずかでもロープにかかっている場合はオンラインで有効といたします。
- ★ 最低計測ラインとして75mにファウルラインを設定いたします。75m未満はファウルとし、その場でシンカー回収を行いません。回収方法は審判の指示に従ってください。なおファウルライン設置の都合上、ファウルラインはセンター75mから左右真横に直線に引きますので、有効エリア最外部では約77mになることをご確認ください。なお、この場合のファウルライン上の判定は、左右ファウルライン同様にシンカーのオン・ラインを75m以上とし有効といたします。
- ・ 投てきエリアは基準点に接する前後6m、左右3mとします。
- ★ 投てきエリアはロープ及び投てき板の内側を有効とします。

## 【競技（投てき・巻き取り）】

- ・ 必ず竿とリールを使用して競技すること。
- ・ ロッドはガイドもしくはロッドのインナー部にラインを通した状態で競技すること。
- ★ 巻き取れる状態のタックルで投てきすること。投てき時にタックルに関する一切の部品の取り外し行為（例：ハンドル取り外し）は、投てき機と巻き取り機の別使用とみなし、ファウルといたしません。
- ・ 投てき方法は自由です。（ダブル・シングルハンドともOK。）
- ★ 参加選手全員が4投します。2回戦や決勝戦は行ないません。
- ・ スムーズな進行のために、タラシ調整やタックル調整はすべてネクストエリア入場以前にお済ませいただき、投てきエリア入場後はすみやかに投てきを開始いただきますようご協力ください。
- ・ 投てき～巻き取りに関する選手の行動は基本的に大会役員が誘導いたしますので、指示に従ってください。
- ★ 投てきはすべてゼッケン順に行ないません。審判の指示以外において順序の変更は行ないません。
- ★ インターバルを公平にし、進行をスムーズにするために、投てき前の待機から投てき開始において時間遵守を義務付け、遅れた場合はファウルとする場合があります。遅刻によるファウルは投てきエリア入場開始時点で判定いたします。従いまして、投てき順が近づいた選手の方は、必ず待機エリアにご入場くださいますようご協力願います。

- ★ 競技の流れとして、競技開始の時点で投てきエリアにゼッケン1番選手、ネクストエリアに2番選手、待機エリアには必ず3名（3番、4番、5番）が並ぶようにし、前投てき者が投てきエリアを出れば、次の選手はただちにネクストエリアから投てきエリアに入場を行なって下さい。（スタッフが誘導します）
- ★ 故意または不自然に、待機エリア～ネクストエリア～投てきエリアの移動が遅く、投てき外の時間の公平性や競技進行をさまたげると大会役員が判断した場合は、警告を行ない、従っていただけないときはファウルや失格とする場合があります。
- ★ 投てきは、審判の合図でスタートとし、30秒以内で投てきを完了をしてください。但し、安全等の理由で、審判や大会役員の判断により一時中断を指示する場合があります。その場合は、審判の判断に従ってください。
- ★ 審判の合図に関わらず、シンカーが着地し計測員の白旗合図があれば投てきエリアより出てきません。
- ★ 他選手への影響およびラインチェックやその他の都合上、巻き取りは必ず巻き取りエリアへ移動後に行なって下さい。審判の指示なしに途中で巻き取りを行なった場合はファウルとする場合があります。
- ★ 投てき状態のタックルで競技ラインをすべて巻き取ること。途中で切れた場合はファウルといたします。万一引っかかった場合や、タックルの不意の故障等により巻き取れない場合は、審判に申し出て下さい。
- ★ 投てきは1投目から4投目まで連続で行ないません。昼食のための特別の投てき回間のインターバルはありませんが、各投てき回終了後には、計測に要する時間があります。2投目以降の各投てき回開始の案内は、計測中にアナウンスいたします。
- ★ 1投目から3投連続でファウルした場合は、4投目の投てきは出来ません。
- ★ 主審の『投てきスタート』コールから投てき完了（スイング終了）間に、投てきエリア付近で大きな声を出さないでください。また投てきエリア外やベンチ付近においても、投てきエリアに届くような大声は、審判の判断により警告もしくは失格といたします。

## 【飛距離計測】

- ・ 計測はレーザー測定器を用います。
- ・ 計測はコート基準点よりコート内シンカーの最遠部までを測ります。
- ★ 計測は各投てき回終了後にまとめて行ないません。

## 【ファウル】

- ★ 上記各規定における禁止事項に準ずるもの
  - ・ シンカーが着地確認する前にラインが切れた場合。
  - ・ シンカーの全部がコート外に出た（サイドラインは外側が有効）場合。
- ★ 一部でもシンカーがコート上にあればファウルにはなりません。
  - ・ 投てきラインより前方にタックル（シンカーを除く）、身体（ウェアなど全て含む）が地面にふれた場合。但し、主催者が支給するキャップが飛んだ場合はファウルになりません。
  - ・ シンカーを投てきラインより前方に接触して、投てきラインより手前に戻した場合ファウルとします。
  - ・ 投てきラインの手前であっても、投てきエリア外の地面に身体（ウェアなど全て含む）の一部がふれた場合。但し、ロッド・リール・ライン・シンカーについては、投てきラインより手前であればファウルにならない。
  - ・ リールやロッドをいかなる方法でも身体に固定や接続した場合。
  - ・ 電気やバネ、ゴム等でパワーをアシストすることは禁止です。  
（例：両軸リールのサミング用のシート等をゴムやバネを用いてスプールのライン放出回転方向に引っ張られる装置としたものは禁止です。）

## 【失格】

- ★ 当ガイドブックの競技規定に準ずる事項および、主催者が注意事項として記載している内容やお願いに従っていただけない場合。
  - ・ 審判の警告を無視した場合。
- ★ スポーツマンシップを汚す行為をした場合。ゴミ捨て行為も含まれます。

## 【順位決定方法】

- ★ 1投目・2投目…の各投てき回毎に飛距離順に50点満点のポイントを付与。但し、50名以上の参加があり、かつ有効投てき者が50名を超える場合は、51位以降はポイント0になります。
- ★ 同飛距離が複数の場合は、同ポイントの付与になりますが、あくまで、各投てき回毎の順位を重視した上で、ポイント配分を公平にするために、その複数に該当するポイントの合計を該当事者数で割ったポイントを付与します。  
例：2位相当が2名の場合、上位からのポイントは、  
50、49、49、47、…ではなく、50、48.5、48.5、47、…になります。
- ★ ファウルはポイント0といたします。
- ★ 4投の上位2投のポイント合計で総合順位を決めます。
- ★ 同ポイントの場合は、上位2投の合計飛距離で順位を決定します。さらに同順の場合は、最長飛距離で最終決定といたします。今回の順位決定の趣旨が4投中2投抽出であるため、上位3投目の成績は考慮せず、これで決着とします。（同順位が発生する可能性はゼロではありません）但し、優勝者の決定のみ該当事者同士でゼッケン順に1投勝負の決定戦を行ないます。
- ★ 大会成立について、悪天候や天災、または影響の大きな事件や事故等で試合を中断や中止した場合、1投てき回の終了をもって有効といたします。1投てき回の終了とは、参加者全員が1投（ファウルや失格を含む）していれば有効とします。また、参加者全員の投てきが終了している投てき回までのポイントを有効とします。
- ★ 有効4投てき回、又は優勝決定戦が不可能になった場合の順位決定は、
  - ①、1投てき回のみ有効：  
1回のポイント順⇒同ポイント（同飛距離）の場合は同順位とします
  - ②、2投てき回のみ有効：  
2回の付与ポイントの中の1回の最大ポイントが大きい順  
⇒最大ポイントが同ポイントの場合は、その飛距離の大きい順  
⇒その飛距離が同一の場合は、2回のポイント合計の大きい順  
⇒さらに同一の場合は、2投合計飛距離順  
⇒さらに同飛距離の場合は1回の最長飛距離順  
以上で決定とし、すべて同一の場合は同順位とする
  - ③、3投てき回のみ有効：  
3回の付与ポイントの中の1回の最大ポイントが大きい順  
⇒最大ポイントが同ポイントの場合は、その飛距離の大きい順  
⇒その飛距離が同一の場合は、2回のポイント合計の大きい順  
⇒さらに同一の場合は、2投合計飛距離順  
⇒さらに同飛距離の場合は1回の最長飛距離順  
以上で決定とし、すべて同一の場合は同順位とする

## 【その他】

- ・ 競技中のタックルの貸し借り（共用）は禁止とします。（両名とも失格といたします。）
- ★ 予備タックルの貸し借りは認めません。
- ★ 代理出場は認めません。（失格といたします。）
- ★ フィールド内への飲食物の持ち込みは禁止です。飲食はすべて大会運営室内でお済ませください。喫煙はフィールド及び運営室内も禁止です。指定場所のみ可能です。
- ★ 潤滑その他の目的で、主にタックル等に用いるスプレー類やオイル類、グリス類、パウダー類のスタジアム内（大会運営室やエントランスホールも含む）への持込みは一切禁止します。但し、人体の皮膚に対応するもの（医療用、滑り止め用）は大会役員の判断で許可するものといたします。必ず、大会役員に申し出てください。
- ★ いかなるゴミもすべて選手本人でお持ち帰りください。主催者で回収させていただくのは弁当ゴミのみとさせていただきます。特に、ラインの切れ端は、ビニール袋等を利用して、たとえ1mmでも選手ご自身で管理願います。

## ●表彰

### 【表彰】

第3位まで、表彰状・クリスタル盾を授与いたします。

### 【賞品】

第10位まで、豪華賞品をご用意しております。

●出場資格者一覧（資格取得順）

	氏名	大会名	順位	出欠	
1	十倉 透	トクラ トオル	2009(08年度分)全国大会	1位	○
2	高濱 芳明	タカハマ ヨシアキ	新春茨城バトル予選会	1位	○
3	村山 洋	ムラヤマ ヒロシ	那珂湊大会	1位	○
4	藤地 隆夫	トウチ タカオ	ひたちなか大会	2位	○
5	菊地 親一郎	キクチ シンイチロウ	茨城大会	1位	×
6	立嶋 達也	タデシマ タツヤ	第7回 東海予選大会	1位	○
7	崎口 寿	サキクチ ヒサシ	静岡県予選大会	1位	○
8	小松 秀孝	コマツ ヒデタカ	愛野予選大会	1位	○
9	林 幸夫	ハヤシ ユキオ	第17回九州大会	1位	○
10	山田 統	ヤマダ ツカサ	第15回北九州大会拙者杯大会	1位	○
11	草野 満	クサノ ミツル	北陸大会	1位	○
12	太田 祐二	オオタ ユウジ	黒部大会	2位	○
13	鬼沢 浩文	オニザワ ヒロブミ	春季コスモスポーツ予選大会	1位	○
14	橋本 和俊	ハシモト カズトシ	春季投専会予選大会	1位	○
15	守 勇気	モリ ユウキ	春季常磐予選大会	1位	×
16	羽田 知史	ハネダ トモフミ	春季笠松予選大会	2位	○
17	丸木 幸夫	マルキ サチオ	第18回九州大会	1位	○
18	小谷 優次	コタニ ユウジ	第16回北九州大会「拙者杯」	1位	○
19	山田 剛	ヤマダ タケシ	夏季投専会予選大会	1位	○
20	星 喜美雄	ホシ キミオ	夏季常磐予選大会	4位	×
21	新庄 隆彦	シンジョウ タカヒコ	夏季笠松予選大会	2位	○
22	丸木 和澄	マルキ カズスミ	第2回九州ダイナミック大会	1位	○
23	岩佐 典広	イワサ ノリヒロ	第1回バトルキャストイング	1位	○
24	小西 勝美	コニシ カツミ	北海道大会	1位	○
25	森山 健	モリヤマ タケシ	道央大会	1位	○
26	浜谷 薫	ハマヤ カオル	札幌大会	2位	○
27	小関 典久	オゼキ ノリヒサ	兵庫予選会	1位	○
28	田頭 孝祥	タガシラ タカヨシ	神戸投翔会杯	2位	○
29	北川 達寿	キタガワ タツヒサ	中部予選大会	1位	○
30	鈴木 良弘	スズキ ヨシヒロ	天竜予選大会	2位	○
31	土橋 正章	ツチハシ マサアキ	磐田地区予選大会	2位	○
32	白沢 大陸	シラサワ タイリク	富士北麓予選大会	2位	○
33	大林 裕幸	オオバヤシ ヒロユキ	山梨県予選大会	1位	○
34	川井 賢	カワイ サトシ	河口湖予選大会	3位	○
35	伊藤 幸一	イトウ コウイチ	山中湖予選大会	1位	○
36	日置 淳	ヒオキ ジュン	第1回滋賀県予選大会	3位	○
37	長尾 昇一	ナガオ ショウイチ	第1回高島予選大会	2位	○
38	小田切 栄	オダギリ サカエ	第1回朽木予選大会	2位	×
39	北田 博司	キタダ ヒロシ	第2回滋賀県予選大会	4位	○
40	茶谷 純	チャタニ ジュン	第2回高島予選大会	1位	○
41	初田 正樹	ハッタ マサキ	第2回朽木予選大会	1位	○
42	下野 誠	シモノ マコト	第9回東海予選大会	2位	○
43	青山 克治	アオヤマ カツジ	第10回東海予選大会	4位	×
44	米山 秀一	ヨネヤマ ヒデイチ	浜松予選大会	6位	○
45	桑島 誠	クワジマ マコト	浜名湖予選大会	2位	○
46	許田 安信	モトダ ヤスノブ	第19回九州大会	1位	○
47	国友 秀光	クニトモ ヨシテル	第17回北九州大会「拙者杯」	6位	○
48	杉田 秀樹	スギタ ヒデキ	石川地区大会	1位	○
49	村上 真	ムラカミ マコト	金沢大会	4位	×
50	諸星 清美	モロホシ キヨミ	神奈川予選会	3位	○
51	笠間 友博	カサマ トモヒロ	小田原予選会	2位	○
52	鹿志村 一夫	カシムラ カズオ	相模地区予選会	6位	○
53	永野 章夫	ナガノ アキオ	第20回九州大会	3位	○
54	多田 昌宜	タダ マサノリ	第18回北九州大会「拙者杯」	7位	○
55	吉野 海洋	ヨシノ カイヨウ	第2回 石川地区大会	3位	○
56	吉川 登志示	ヨシカワ トシジ	第2回 金沢大会	1位	○
57	立川 厚二	タチカワ コウジ	第2回 金石大会	4位	○

※ 有資格者57名、 欠席6名、 出場51選手 ※ 出欠欄については、2月末の確認時のものです。

**SHIMANO**